

別紙

I. 事業評価総括表（平成30年度）
（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係 る整備、維持補 修又は維持運営 等措置	市道大藤荒谷線道路整備事業	萩市	6,426,000	6,426,000	総事業費 6,426,000円

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道大藤荒谷線道路整備事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		萩市				
交付金事業実施場所		萩市川上地内				
交付金事業の概要		<p>萩市では、住民にとって快適な道路空間を創設するとともに、維持管理コストの低減を図る観点から、市が管理する市道全長約992,600mのうち、未舗装延長約99,900mの解消を目的として、道路改修を行っています。</p> <p>当該路線は阿武川ダム建設により作られたダム湖の半島を囲んで県道に接続する道路で、路線の中間地点には、ダム建設に伴い水没した集落の住民により、水没集落を偲ぶ目的で「望郷の碑」が設置されています。住民の方々にとって、望郷の碑や周辺山林等の維持管理のためには不可欠な路線です。加えて、近年では釣りや紅葉時期の観光目的等で訪れる方も増加傾向にあります。過去に交付金を活用し望郷の碑までの片道区間を舗装しましたが、残りの区間は未舗装で凹凸も激しく通行に支障をきたしており、多くの通行者は舗装された片道区間のみを戻ってくるため、幅員が狭い道路で離合を繰り返さざるを得ない状況となり、接触や転落のおそれがあり大変危険との声が挙がっていました。</p> <p>このため、残りの未舗装区間も舗装し、路線を一方通行とすることで、危険な離合をせずに通行することが可能となり、利用者にとって安心・安全な道路環境を整備するものです。</p> <p>アスファルト舗装 延長L=390m 幅員W=2.2~6.0m 表層工(As)t=4cm 不陸整正（補足材有）t=1~3cm</p>				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>萩市新市建設計画（平成17~31年度）</p> <p>第9章 財政計画</p> <p>第3節 未来を結ぶ絆のまち ~交通・情報通信基盤の整備~</p> <p>1 道路網の整備 (3) 生活道路の整備</p> <p>目標：生活道路の利便性・円滑性の向上を図る</p>				
事業開始年度		平成30年度	事業終了（予定）年度	平成30年度		
事業期間の設定理由		-				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	
		路線の通行に要する時間を20分に短縮する	20分/路線通行に要する時間(分)×100	成果実績	%	100.0
				目標値	%	100
				達成度	%	100.0%
		評価年度の設定理由				
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業完了後すみやかに評価を実施。				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
-						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	路線における未舗装区間の舗装	活動実績	m	990	1,070	390
		活動見込	m	990	1,070	390
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考		
総事業費	14,040,000	16,038,000	6,426,000			
交付金充当額	11,000,000	11,000,000	6,426,000			
うち文部科学省分	0					
うち経済産業省分	11,000,000	11,000,000	6,426,000			
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	舗装工	指名競争入札	協和建設工業(株)(萩市)	6,426,000		
	計			6,426,000		
交付金事業の担当課室	萩市商工振興課					
交付金事業の評価課室	萩市商工振興課					